

1600

5867

保期	F.073	子	20	水
機期		發付迄	完結迄	水
機印			普	

書類

昭和八年八月四日

起案者捺印

昭和八年八月四日發付後起

發付後起案者捺印

手紙

8.8.6

10

8.8.10

8.8.8

主務局部

起案部紙(甲)

(標案) 艦政本部長

大臣 閣次官

副官 岩村

書記官

第四部長

第三部長

總務部長 山下

第二課長

第一課長

局員

軍務局長 第一課長 局員

經理局長

第二課長

訓令案

昭和八年八月五日

海軍大臣

吳鎮長 官宛

軍艦平戸艦橋防彈裝置、二重天幕裝置、江水瀝過

號番

官房第三八〇番

軍令	艦政	航空	法務	建築	經理	醫務	教育	人事	軍務	官房	局部
									8.8.19	八月廿二日	
									8.8.24	大臣官房	

裝置小型製水機械附冷藏庫及電氣暖房器撤去ノ件訓令

吳海軍工廠ヲシテ首題ノ件左記ニ依リ施行セシムル様取計フベシ

記

一 工事要領

昭和四年官房機密第一二八五號訓令ニ依リ裝備ノ艦橋防彈裝置、二重

天幕裝置、江水瀧過裝置及昭和七年官房機密第四一二番電訓令ニ依リ

裝備ノ電氣暖房器十個並昭和八年官房第一一一番電訓令ニ依リ裝備ノ

小型製水機械附冷藏庫一個ノ内將來他ニ使用可能ノモノヲ撤去シ吳海

軍工廠ニ保管セシムルモノトス、
×圖係電路兵器ハ撤去還納スルモノトス
尙詳細ハ吳海軍工廠ニ於テ計畫シ工

一 完成時期

船体卸工事ノ

昭和八年度役務終了吳ニ入港後工事ニ着手シ昭和九年三月末日迄成ル

可ク早キ時期ニ完成スルモノトス

一 費目

起案算紙(乙)

軍事費造船造兵及修理費
造船費一般修理(船) 一
造兵費修 理(電) 一般配付豫算内支辨
トス

本件通達先

旅順要港部司令官宛

昭和八年八月貳拾參日發布濟

「終」

理由 同艦九年度以降第四豫備艦ニシテ本設備ヲ要セザルニツキ

見込豫算

船 五〇〇圓

電 一〇〇圓

15

15